

フォトニュース

PHOTO NEWS

このコーナーでは、市内各地で行われるイベントや市民の活動をご紹介します。皆さんの身近で行われる楽しい催しなどありましたら、市役所総務課広報広聴係(☎43-7025)までお知らせください。

ハチ公を囲む雪灯ろう(JR大館駅前ハチ公広場)

▶寒さに負けない元気な声で「コケッココー」



◀真つすぐ走れ「比内地鶏ダービー」

トリづくしの「比内とりの市」(1月23、24日)

比内地域の冬の風物詩「比内とりの市」が、比内グラウンドを主会場に行われました。

恒例の「比内地鶏かやき鍋」や「千羽焼き」は、完売するほどの売れ行き。会場では、「コケッココー」と鳴く長さを競う「人間比内永唱大会」や、比内地鶏を走らせ順位を当てる「比内地鶏ダービー」などが行われ、笑いとお歓声に包まれました。

初日は雪が降り続く天候だったものの2日目は好天に恵まれ、市内外から訪れた来場者はイベントを楽しんだり比内地鶏に舌鼓を打ったりして、トリづくしの冬祭りを楽しみました。

威勢良く「福は内」(2月3日)

節分の3日、市内各地で豆まきが行われました。大館八幡神社では、氏子らで組織する大館八幡会(金澤宏会長)が主催して毎年行われ、今年で36回目。数え年で42歳となる年男や会員などが「かみしも姿」になり、集まった八幡幼稚園の園児や住民らに向け「福は内、福は内」と威勢良く豆をまきました。神事で鬼を追い払った福豆をまくことから「鬼は外」の掛け声は無く「福は内」だけ。次々と放り投げられる豆を園児らは夢中で拾い、両手いっぱい縁起の良い豆を持って喜んでいました。



福は～内、福は～内



かたし「形代払い」で厄を払いました(田代地域)

人生の節目として厄年の災いを払う「合同年祝い」が市内各地で行われました。各会場には、礼服やスーツに身を包んだ男性、和服姿の女性たちが一堂に会し、久しぶりに再開した級友や来賓の恩師らと人生の節目を祝い合いました。

市内各地で合同年祝い(1月31日・2月1日)

丸まげ姿の女性が勢ぞろい(西館地区)

